

えのもとだより



院長 榎本 泰三

あけましておめでとうございます。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

令和元年 12 月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で

全世界に広がった新型コロナウイルス感染は終息する気配は全く

見られず、第三波の到来を受け、医療崩壊寸前の状態となってきました (R2 年 12 月現在)。

昨年 1 年間を振り返ってみますと、緊急事態宣言を受けた時期には経済がストップしたと同時に受診抑制も顕著となり、外来患者様は激減しました。また急性期疾患や専門的な治療を要する場合に、病院紹介するにも新型コロナウイルス感染対応により受け入れ制限や手術の延期など一般診療にも大きく影響しました。緊急事態宣言解除後、外来患者様は徐々に増え、一時期減少した上部・下部内視鏡検査件数もほぼ例年並みに回復いたしました。

ハード面におきましては、毎年少しずつ充実してきており、レントゲン撮影装置と超音波検査装置を最新鋭のものに入れ替え、診断能力が格段に向上しました。

しかしその後も新型コロナウイルス感染の終息はみられず、現在も感染対策を講じながら診療をしております。院内の消毒を徹底し、各部署へのアルコール消毒液や正面玄関に非接触型自動体温測定器を設置しました。発熱患者様に対しては事前にお電話で問診した後、医師が PPE (Personal Protective Equipment : 個人防護具) を装着し、感染対策を徹底した上で院外駐車場にて対応させていただいております。この対応に時間を要するため、結果として診療時間が長くなってしまい、診察の順番をお待ちの患者様には大変ご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。

今年の上半期にはいよいよ新型コロナウイルスのワクチン接種が開始される見込みです。種々のワクチンメーカーの副作用・保存方法等に問題がありますが、できるだけ早く効果と安全性が確立したものとなり、国民に接種できることが望まれます。

当院としても可能な限り通常診療を維持しつつ、感染対策を十分行った上で発熱患者様にも対応してまいります。皆様が安心して毎日を過ごせますように榎本医院のスタッフが一丸となり、日々努力していく所存です。

年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



名誉院長 榎本泰久

明けましておめでとうございます。

昨年は世界中コロナ・コロナで大変な年でしたが、皆さまお元気で新年を迎えられたことと思います。コロナを予防するには、手洗いの励行、マスクの着用、三密を避けることが基本となりますが、春からはワクチンの接種も始まると聞いていますので、オリンピックも無事開催できるのではないかと考えています。

ところで当院では、3年前から市町村の胃がん検診を始めましたが、昨年は2市2町1村から検診を受託するようになりました。市町村の胃がん検診も含め、昨年当院では700例以上の胃カメラを施行し、がんを5例発見することができました。そのうちの3例については早期がんで内視鏡切除により1週間で退院することができています。がんが不治の病といわれたのは昔のことで、現在では早期発見・早期治療で治ります。皆様方も健康な身体を維持するため検診を積極的に受けられることをお勧めします。

今年も皆様方がお元気で幸せな日々を送られますようお祈りいたします。



院内勉強会（あすなろ会）

1月 フレイルと漢方治療

2月 肺炎とワクチン

3月 コロナウイルスと個人情報

7月 在宅酸素について

8月 新しいGLP-1

9月 鉄欠乏性貧血と新治療薬フェインジェクト

10月 COVID-19 感染対策とインフルエンザ対応
禁煙治療標準手順書について（WEBにて）

11月 インフルエンザとCOVID-19の最新トピック

12月 Meiji こだわりのジェネリック



X線撮影システム



超音波画像診断装置



顔認証体温測定器



正面玄関入口看板



訪問カー



低濃度オゾン発生装置



車いす



患者様用スリッパ